

## 2 参考資料

### (1) 人口及び就業構造

#### ① 年齢層別人口動態

		総計			0～14歳			15～29歳			30～44歳			45～64歳			65歳以上		
		計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
実数(人)	平成17年	74,840	34,850	39,990	11,052	5,584	5,468	11,810	5,699	6,111	12,422	5,829	6,593	21,671	10,523	11,148	17,885	7,215	10,670
	平成22年	74,809	34,763	40,046	10,575	5,419	5,156	10,743	5,125	5,618	12,753	6,037	6,716	21,306	10,208	11,098	19,432	7,974	11,458
	平成27年	75,173	35,004	40,169	10,777	5,544	5,233	9,454	4,506	4,948	13,431	6,418	7,013	19,518	9,190	10,328	21,993	9,346	12,647
構成比(%)	平成17年	(100.0%)	(46.6%)	(53.4%)	14.8%	16.0%	13.7%	15.8%	16.4%	15.3%	16.6%	16.7%	16.5%	29.0%	30.2%	27.9%	23.9%	20.7%	26.7%
	平成22年	(100.0%)	(46.5%)	(53.5%)	14.1%	15.6%	12.9%	14.4%	14.7%	14.0%	17.0%	17.4%	16.8%	28.5%	29.4%	27.7%	26.0%	22.9%	28.6%
	平成27年	(100.0%)	(46.6%)	(53.4%)	14.3%	15.8%	13.0%	12.6%	12.9%	12.3%	17.9%	18.3%	17.5%	26.0%	26.3%	25.7%	29.3%	26.7%	31.5%

- (注) 1. 資料は国勢調査とする。  
 2. 年次は、結果が公表されている最近3回の国勢調査年次とする。  
 3. 総数の計の( )内には各年次の比率を記入する。

#### ② 産業部門別就業者数等

	年次	総数	第1次産業				第2次産業	第3次産業	分類不能
			農業	林業	漁業	小計			
実数(人)	平成17年	33,075	1,630	31	28	1,689	6,697	24,495	194
	平成22年	32,207	1,139	70	23	1,232	6,206	24,390	379
	平成27年	33,105	928	77	29	1,034	6,454	25,140	477
構成比(%)	平成17年	100.0%	4.9%	0.1%	0.1%	5.1%	20.2%	74.1%	0.6%
	平成22年	100.0%	3.5%	0.2%	0.1%	3.8%	19.3%	75.7%	1.2%
	平成27年	100.0%	2.8%	0.2%	0.1%	3.1%	19.5%	75.9%	1.4%

- (注) 1. 資料は国勢調査とする。  
 2. 年次は、結果が公表されている最近3回の国勢調査年次とする。

#### (2) 土地利用

	年次	総土地 面積	耕地面積				林野面積			その他面積
			計	田	畑	樹園地	計	森林	原野	
実数(人)	平成17年	23,131	983	796	168	19	14,977	14,977	0	7,171
	平成22年	23,132	971	786	169	16	15,042	15,042	-	7,119
	平成27年	23,125	942	784	151	7	15,534	15,534	-	6,649
構成比(%)	平成17年	100.0%	4.2%	3.4%	0.7%	0.1%	64.7%	64.7%	0.0%	31.0%
	平成22年	100.0%	4.2%	3.4%	0.7%	0.1%	65.0%	65.0%	0.0%	30.8%
	平成27年	100.0%	4.1%	3.4%	0.7%	0.0%	67.2%	67.2%	0.0%	28.8%

(資料) 森林: 森林経営課

農地: 農林業センサス

区域面積: 平成30年鹿児島県統計年鑑(令和元年12月刊行)

- (注) 1. 年次は、結果が公表されている最近3回の調査年次とする。  
 2. 「林野面積」については調査が行われていない年次については空欄とする。  
 3. 構成比は、空欄のない最近年次について算出する。

## (3) 森林転用面積

(ha)

年次	総数	工場・事業 場用地	住宅・別荘 用地	ゴルフ場・レ ジャー用地	農用地	公共用地	その他
昭和55年	44	0	32	11	0	0	1
平成2年	124	3	20	75	3	15	8
平成12年	77	5	0	54	0	2	16

- (注) 1. 資料は農林業センサスとする。  
2. 年次は、結果が公表されている最近3回の調査年次とする。

## (4) 森林資源の現況等

## ① 保有者形態別森林面積

所有形態	総面積		立木地			その他 ha	人工林率 (B/A) %	
	面積(A) ha	比率 %	計 ha	人工林(B) ha	天然林 ha			
総数	15534	100	15536	8435	5668	1433	54.3	
国有林	824	5.3	807	649	158	19	78.8	
公有林	計	2269	14.6	2269	1094	1064	112	48.2
	都道府県有林	274	1.8	274	139	124	11	50.6
	市町村有林	1995	12.8	1995	955	940	101	47.9
	財産区有林	-	-	-	-	-	-	-
私有林	12441	80.1	12441	6693	4446	1302	53.8	

- (資料) 1. 国有林:九州森林管理局  
2. 民有林:鹿児島県 林業振興課

- (注) 1. 四捨五入の関係で計が合わない場合がある。  
2. 四捨五入で1に満たないものは0で記入。

## ② 在(市町)者・不在(市町)者別私有林面積

	年次	私有林 合計	在(市町)者 面積	不在(市町)者面積		
				計	県内	県外
実数(人)	昭和55年	11,570	10,037	1,533	1,245	288
	平成2年	11,311	9,079	2,232	1,574	658
	平成12年	11,648	9,758	1,890	1,390	500
構成比(%)	昭和55年	100.00	86.8	13.2	10.8	2.5
	平成2年	100.00	80.3	19.7	13.9	5.8
	平成12年	100.00	83.8	16.2	11.9	4.3

- (注) 1. 資料は農業センサスとする。  
2. 年次は、結果が公表されている最近3回の調査年次とする。  
3. 構成比( )は、不在(市町村)者面積の県内、県外比率とする。

③ 民有林の齢級別面積

区分	齢級別 総数	1・2 齢級	3・4 齢級	5・6 齢級	7・8 齢級	9・10 齢級	11齢級 以上
民有林計	13296	1065	285	328	643	1968	9006
人工林	7786	431	73	204	496	1545	5038
天然林	5510	635	212	125	147	423	3968

(備考) スギ38%、ヒノキ14%、タケ類8%、他広38%、その他2%

- (注) 1. 地域森林計画の資料(森林資源構成表)を参考として記入する。  
2. 備考欄には主要樹種別の面積比を記入する。

④ 保有山林面積規模別林家数

区分	総数	1～3ha 未満	3～5ha 未満	5～10ha 未満	10～ 50ha	50ha以上
林家数	908	713	116	53	24	2

- (注) 1. 資料は農林業センサスとする。(平成27年度最新版)

⑤ 林道の状況

区分	路線数	延長(m)	林道にかかる 利用区域 面積	林道密度 m/ha
国有林林道	9	20.1	1337	15.03
民有林林道	40	83,031	3499	23.73

(資料) 令和2年度林道台帳

(5) 市町村における林業の位置付け

① 産業別総生産額 (単位: 百万年)

総生産額		(A)	187,217
内訳	第1次産業		2,909
	うち林業 (B)		290
	第2次産業		38,541
	うち木材・木製 品製造業 (C)		X
第3次産業		145,767	
B+C/A			X

(資料) 平成29年度市町村民所得推計報告書

② 製造業の事務所数、従業者数、現金給与総額

	事業所数	従業者数(人)	現金給与総額(万円)
全 製 造 業 (A)	73	3,224	853,450
うち木材・木製品製造業 (B)	2	11	X
B/A	2.74	0.34	X

- (注) 1. 最近年の工業統計表の「市町村編」による。  
 2. 製造業には、林業が含まれない。  
 3. 木材・木製品製造業の定義は、「産業分類」(総務省)のよるものであり、製造業、合板製造業等が含まれる。

(6) 林業関係の就業状況

区分	組合・事業者数	従業者数		備 考
		うち従業者数		
森林組合	1	46	34	(始良西部森林組合)
生産森林組合	2	490	474	(小山田生産森林組合・西別府生産森林組合)
素材製産業	8	65	65	(始良西部森林組合、四季の会、まえはた林業、やまびこ農林、鱈坂林業、新誠林業、岩崎林業、始良西部森林組合請負班)
製材業	2	10	10	(旭工業、平原製材)

(資料) 森林経営課担い手育成係

(7) 林業機械等設置状況

区 分	総数	公有林	森林組合	会社	個人	その他	備 考
集材機	2	2	0	0	0		
リモコンウインチ	0			0			無線操縦等による木寄機
自走式搬機	0		0	0	0		リモコン操作による巻き上げ搬器
運材車	7	0	2	0	5		林内作業車
ホイールトラクタ	0		0				主として牽引式集材用
動力枝打機	0		0		0		自動木登式
トラック	6		2	0	4		主として運材用のトラック
グラブブルクレーン	0		0	0	0		グラブブル式のクレーン
計	15	2	4	0	9	0	
<b>&lt;高性能機械&gt;</b>							
フェラーバンチャー							伐倒、木揃用の自走式
スキッター	1	1					牽引式集材車両
フロセッサ・グラブソナー	2	1	1				枝払、玉切、集積用自走式
ハーベスタ	0						伐倒、枝払、玉切、集積用自走式
フォワーダ	5	1	3			1	積載式集材車両
タワーヤーダ	0						タワー付き集材機
スイングヤーダ	1		1				
その他高性能機械	3		2			1	

- (注) 1. 林業機械等の種類は適宜追加する。  
 2. 単位は、林業機械等の種類により適宜定める。

(8) 林産物の生産概況

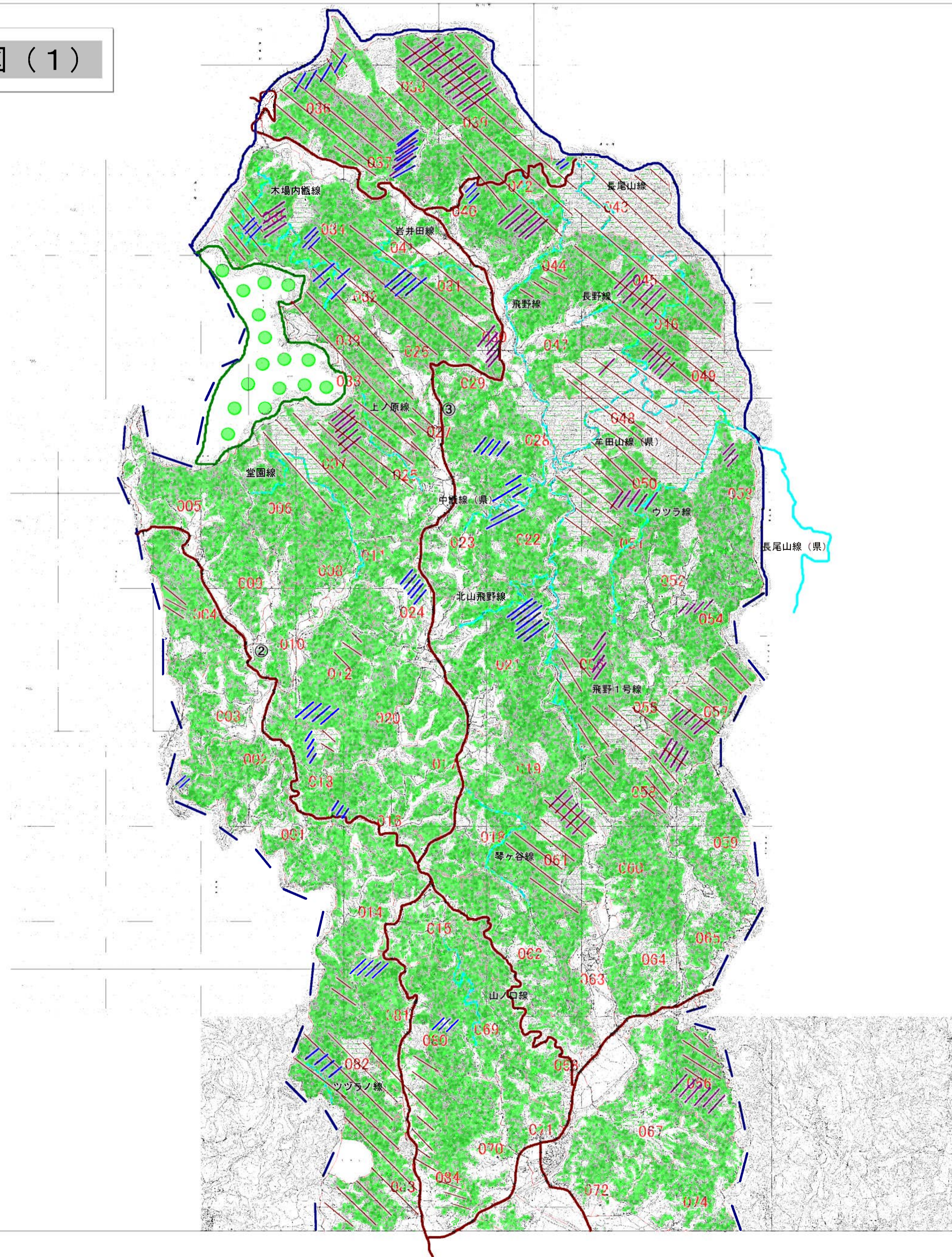
種類	素材	チップ	苗木	しいたけ		たけのこ	サカキ	木炭
				生	乾			
生産量	1,006,820kg	—	—	37,666kg	5,612kg	62,628kg	515kg	627kg
生産額(千円)	8,818	—	—	10,396	2,787	25,257	99	135

(資料) 令和元年度始良市動態調査

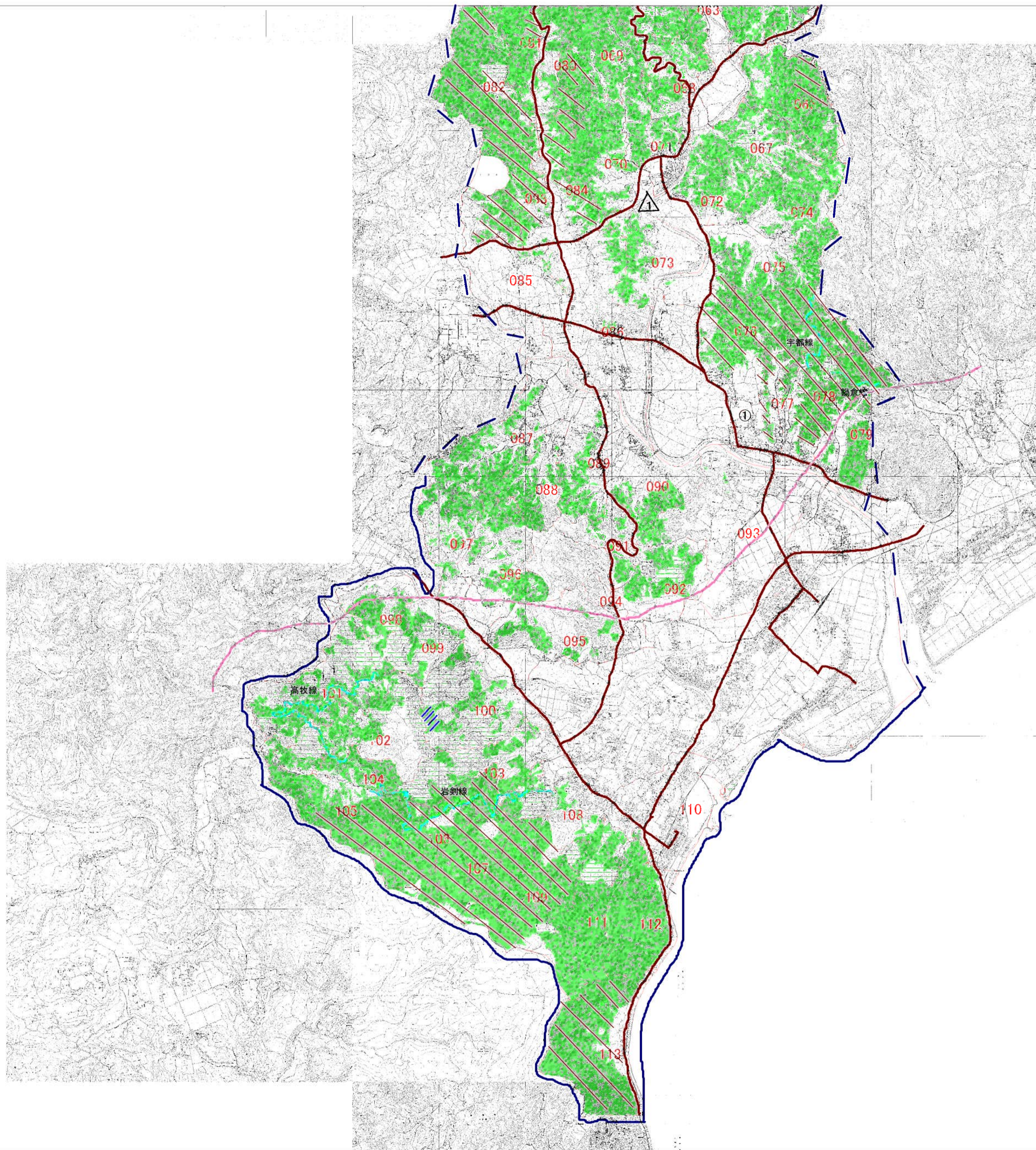


# 市町村森林整備計画概要図（1）

## 始良地域概要図

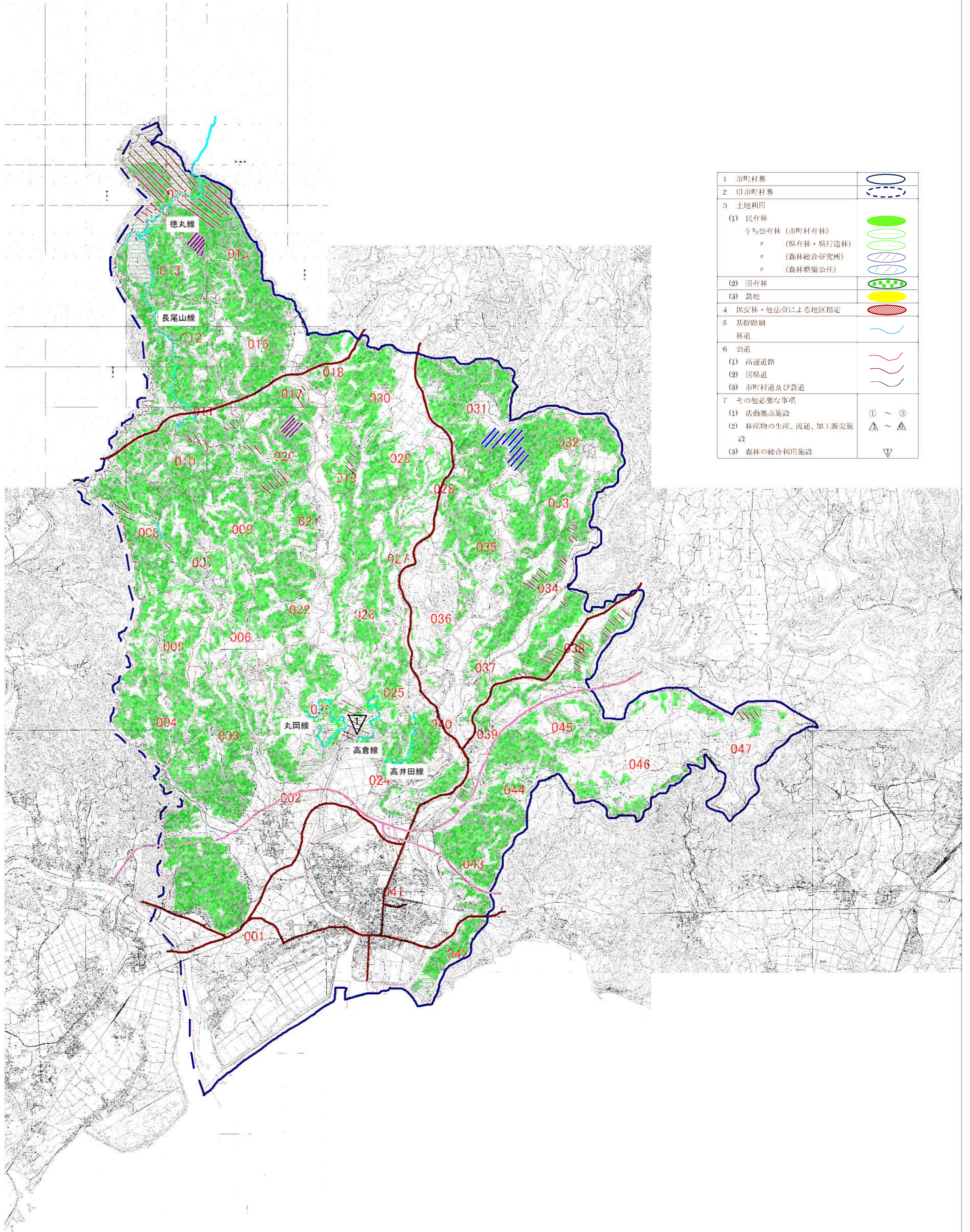






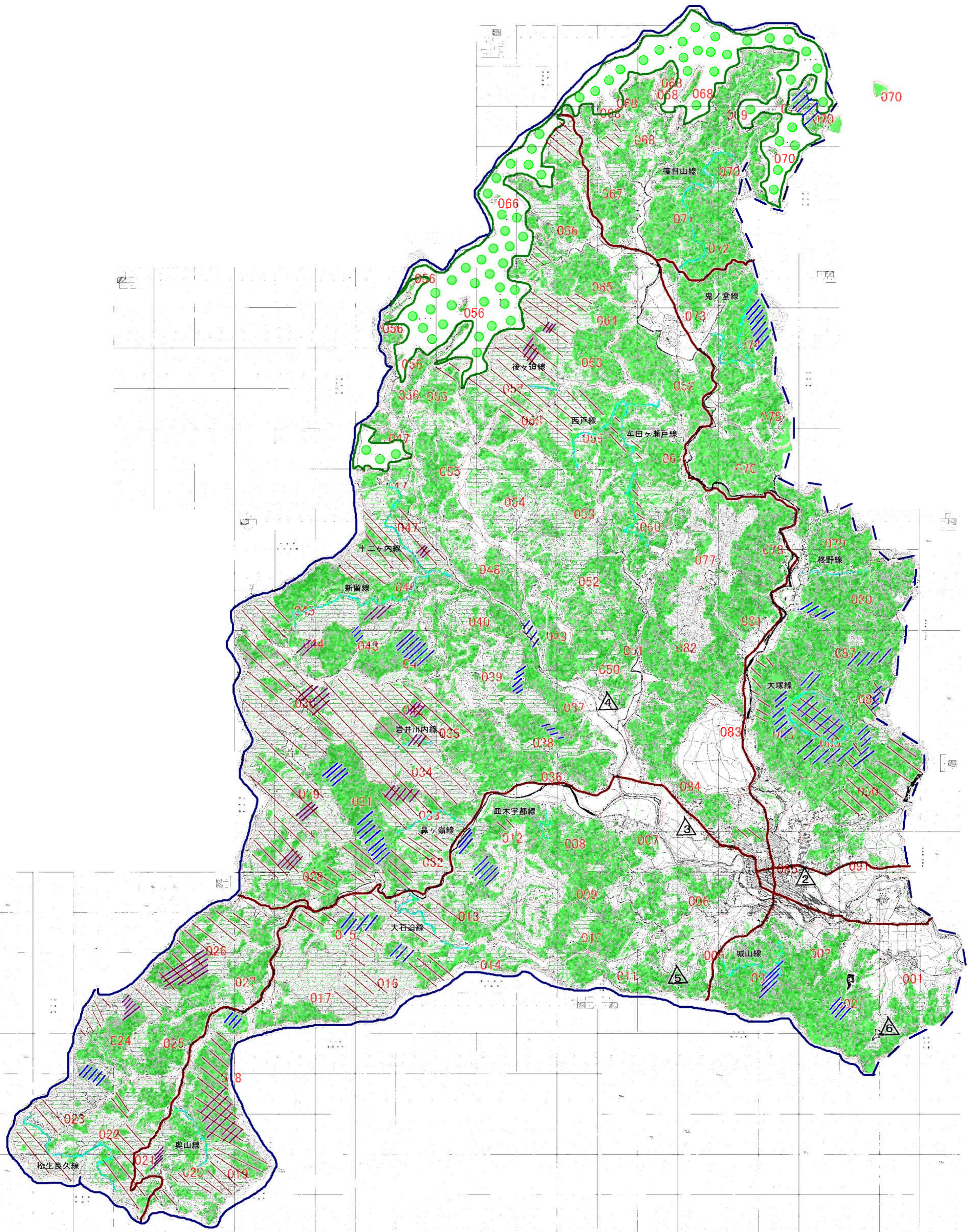


# 加治木地域概要図





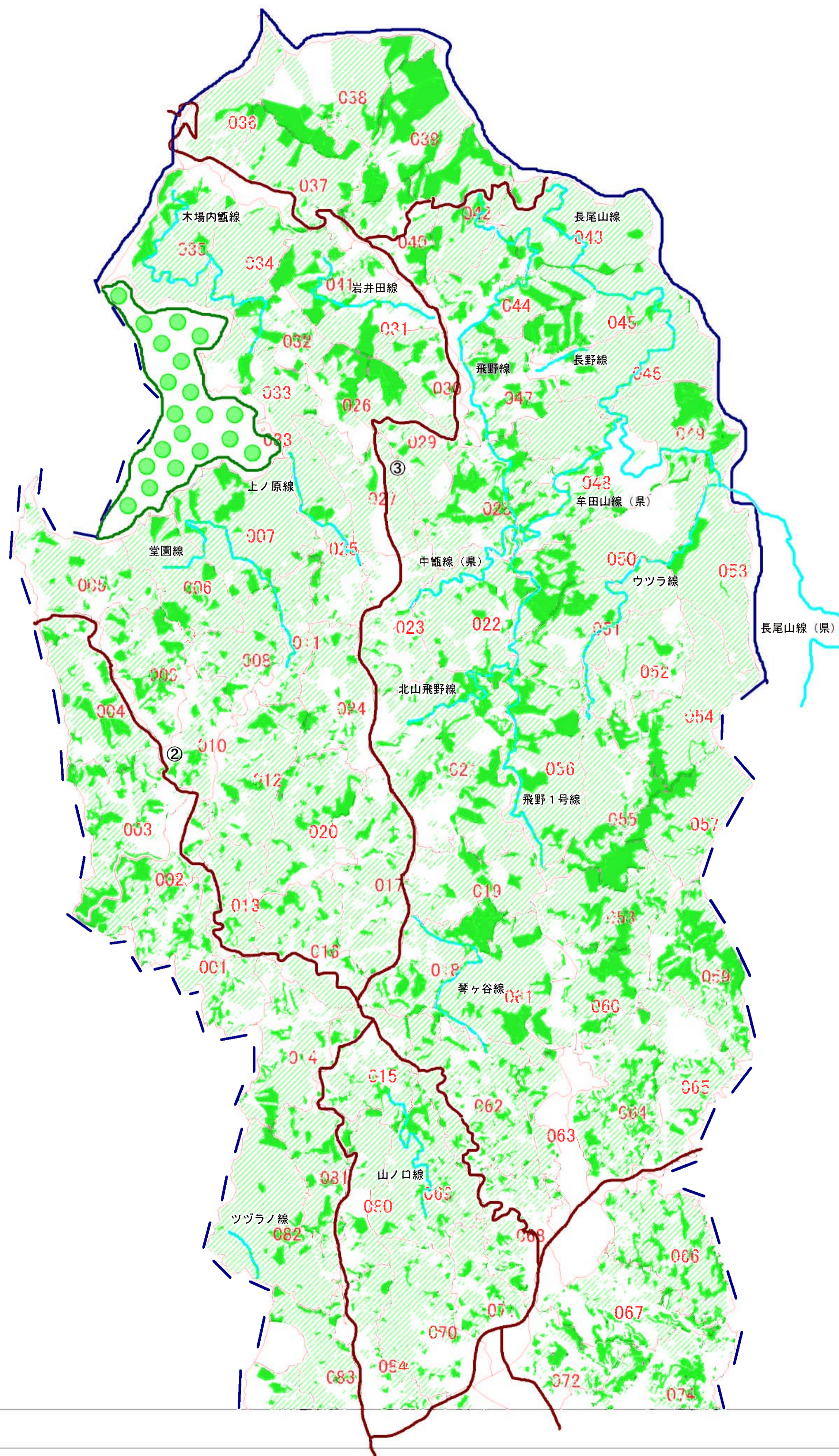
# 蒲生地域概要図



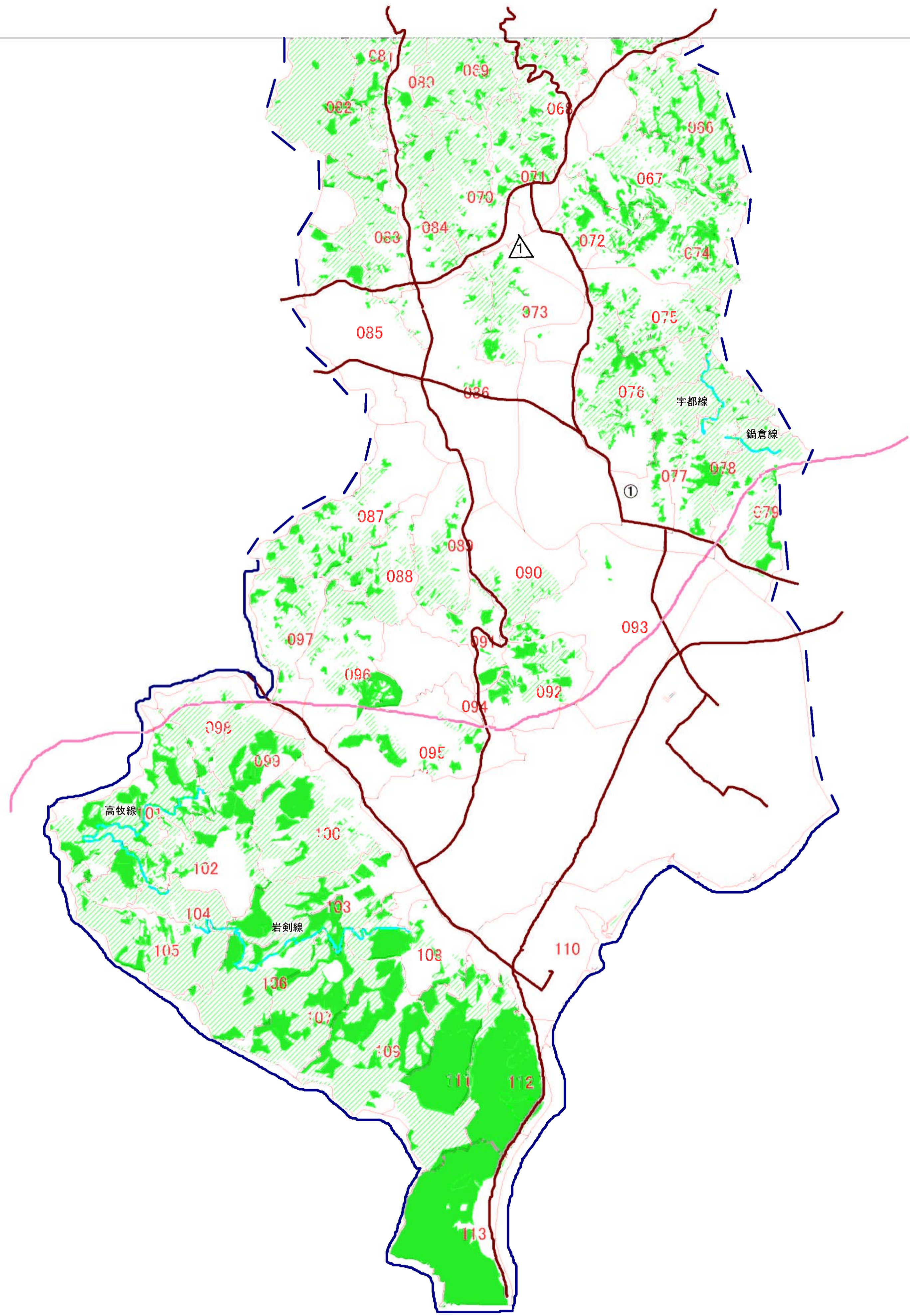


# 市町村森林整備計画概要図（2）

## 始良地域概要図



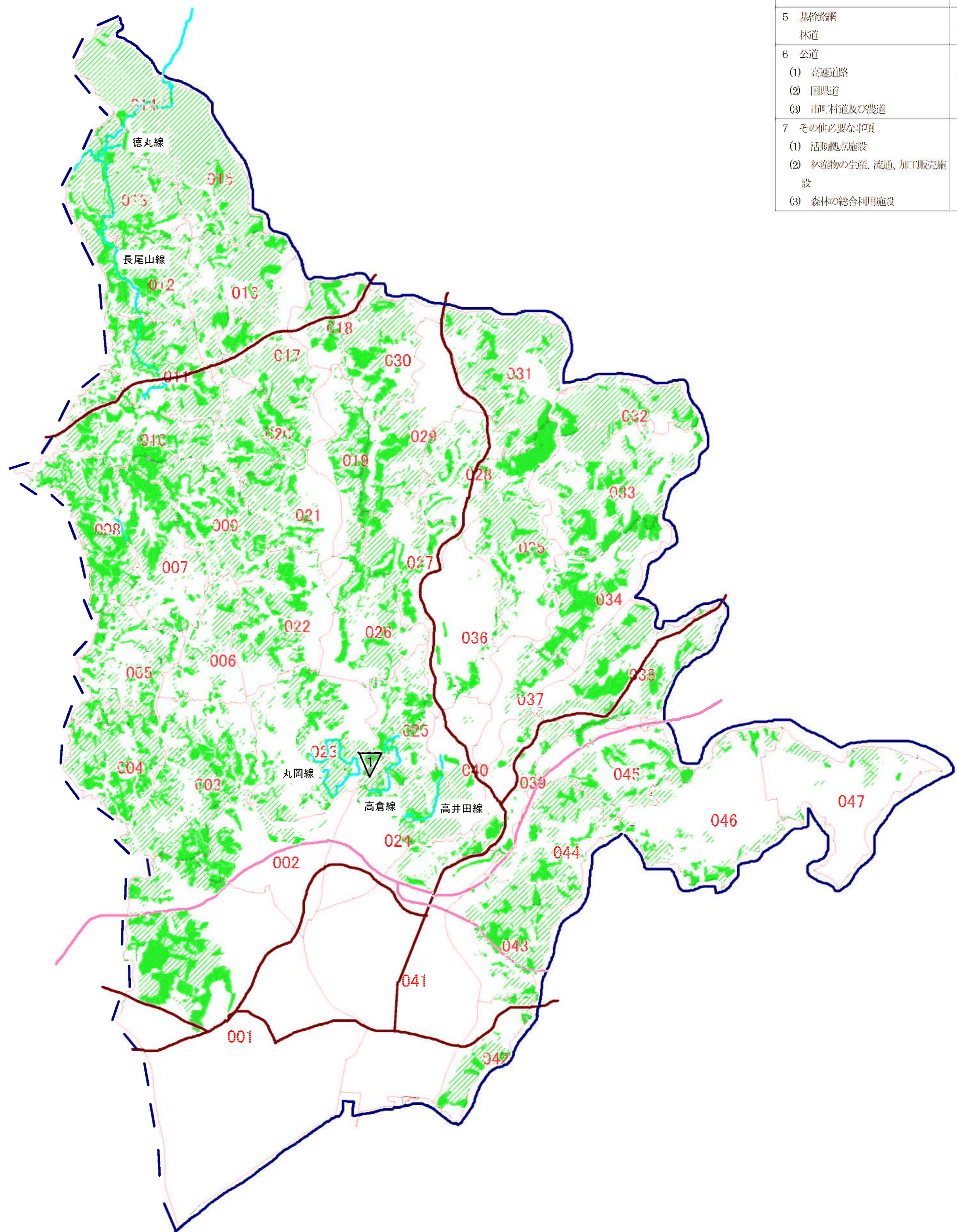






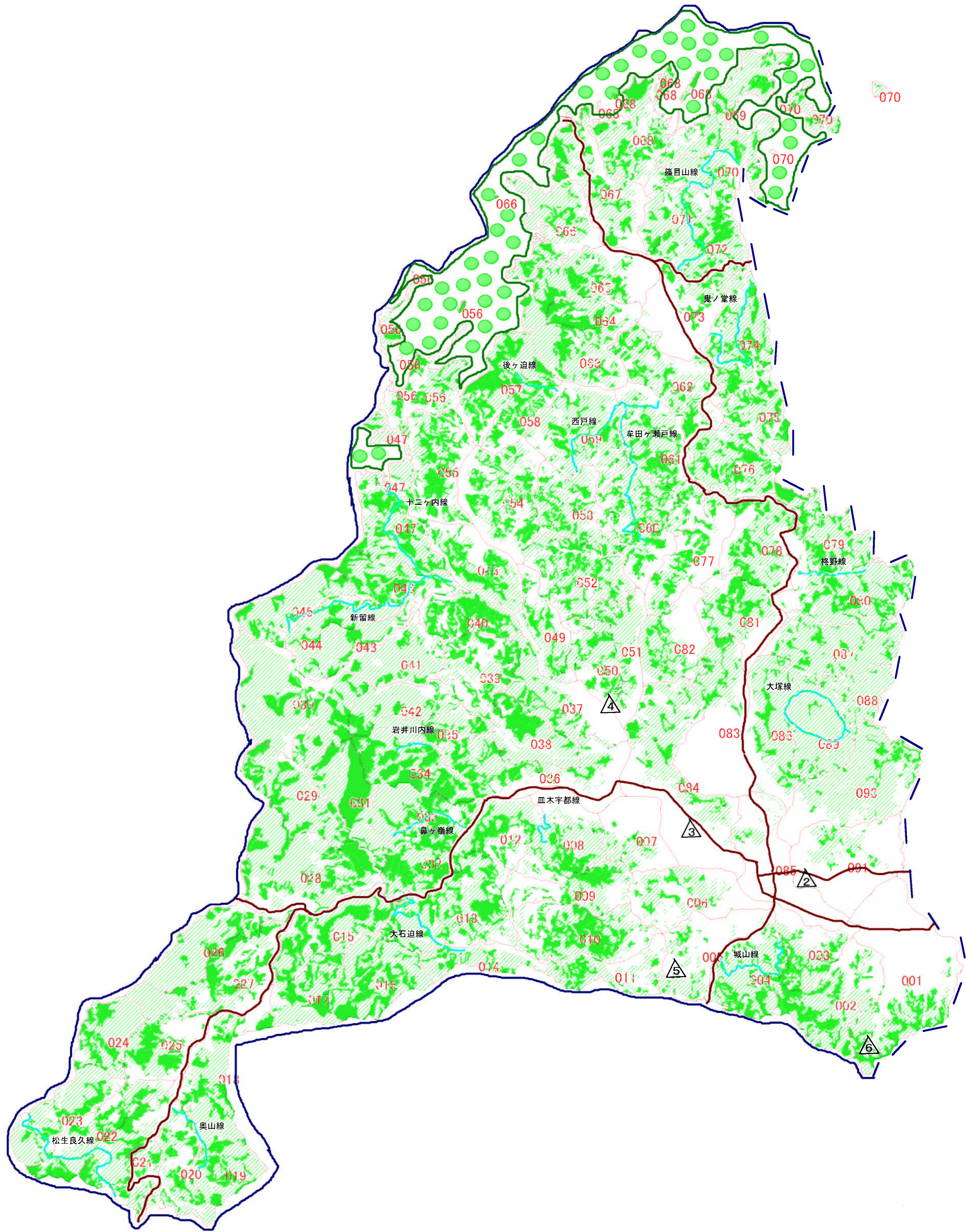
# 加治木地域概要図

1 市町村界	
2 旧市町村界	
3 国有林	
4 森林資源状況	
① 人工林	
② 天然林	
5 基幹路網	
林道	
6 公道	
① 高速道路	
② 国道	
③ 市町村道及び農道	
7 その他必要な事項	
① 活動拠点施設	① ~ ③
② 林産物の生産、流通、加工販売施設	△ ~ △
③ 森林の総合利用施設	▽





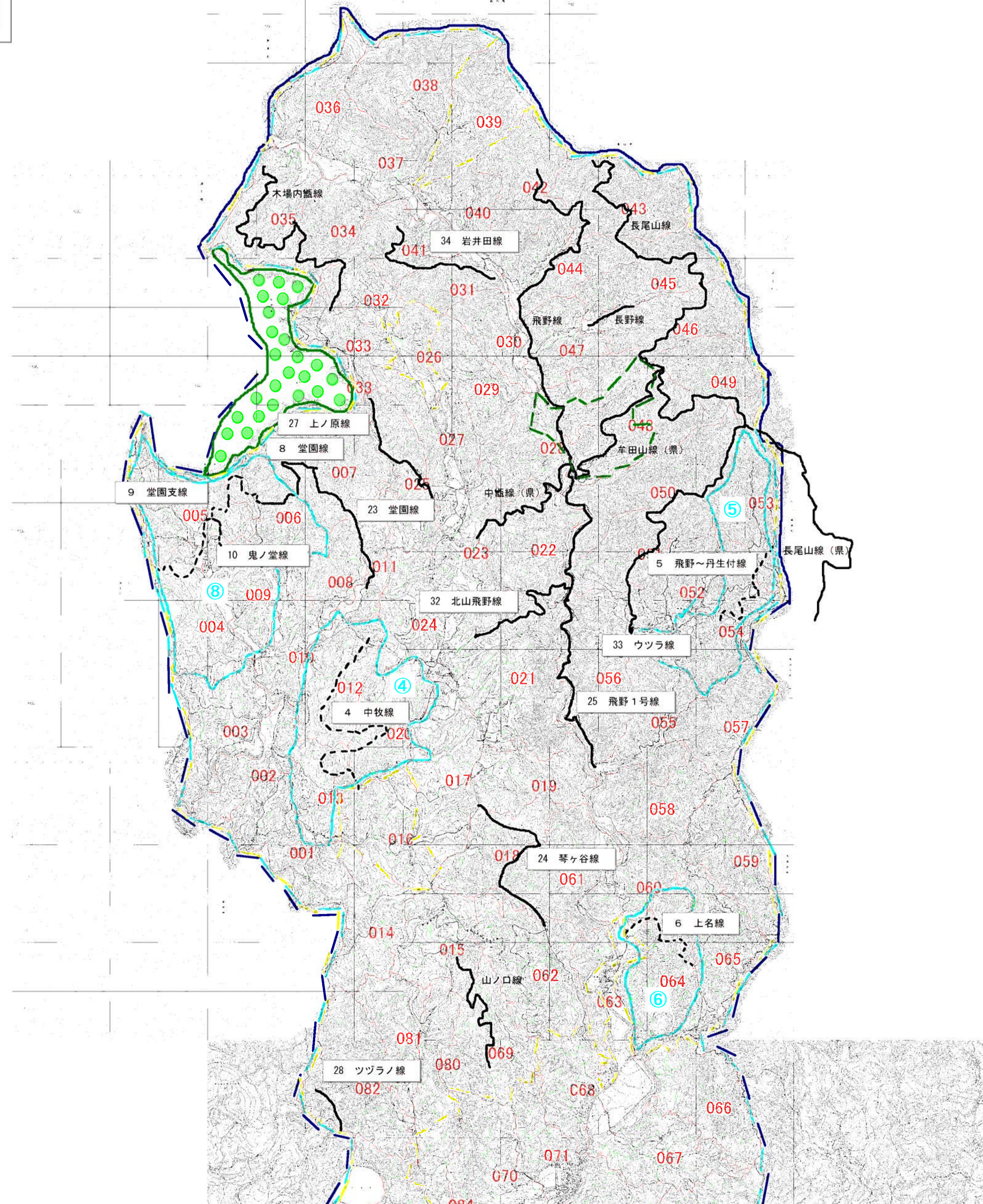
# 蒲生地域概要図



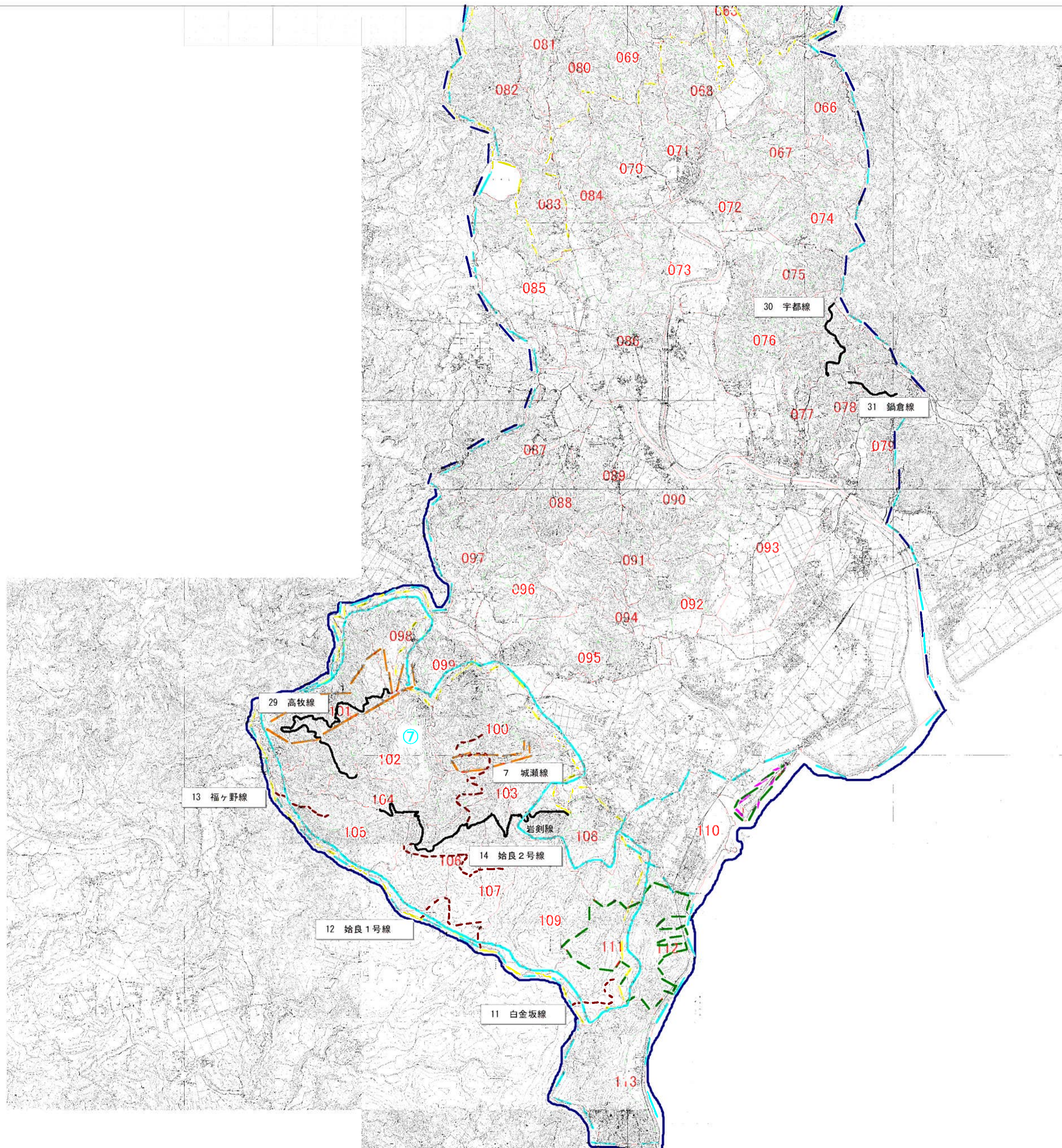


市町村森林整備計画概要図（3）

始良地域概要図

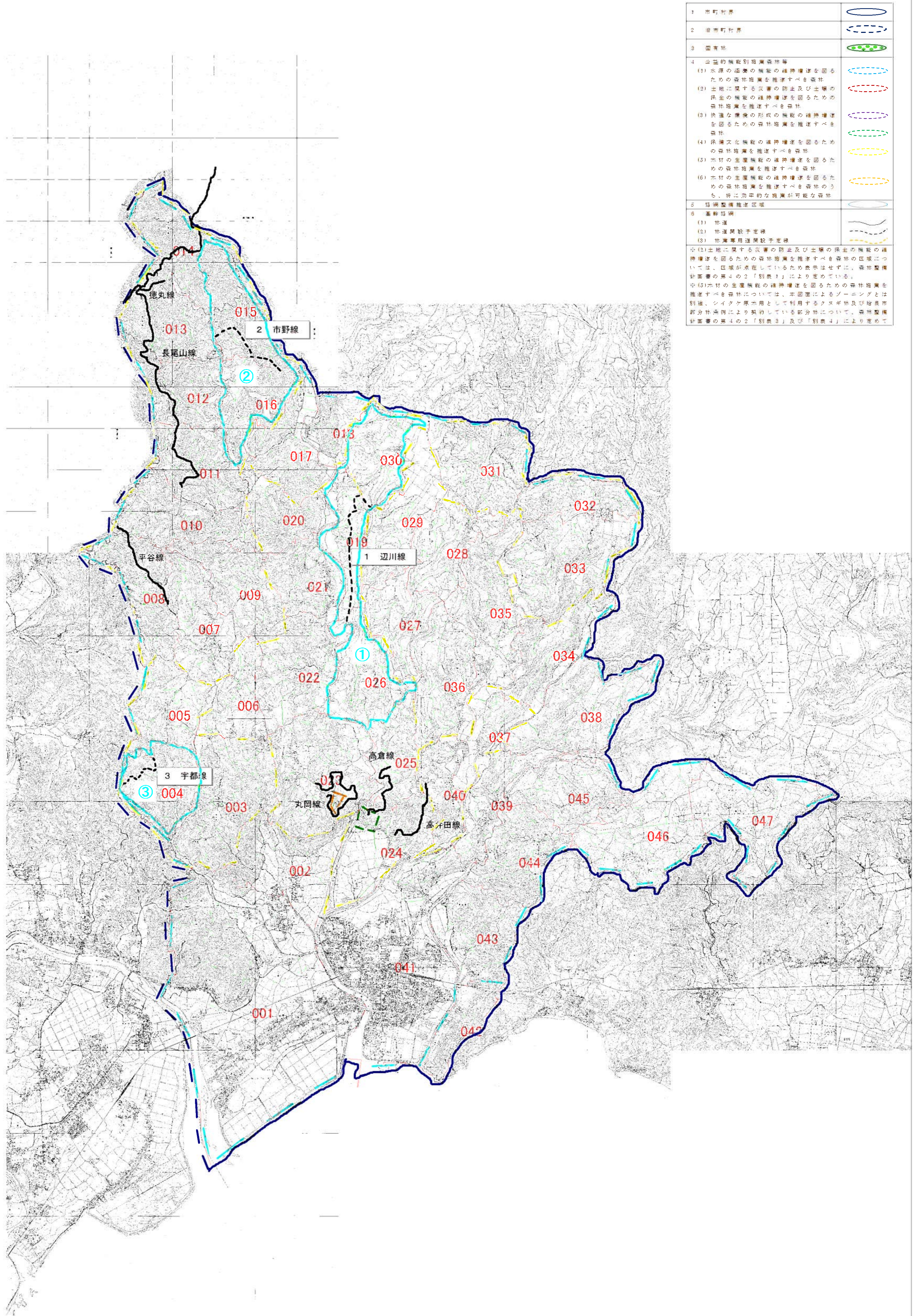








# 加治木地域概要図



1 市町界	
2 市町界	
3 国界	
4 公益的機能別指定地域	
(1) 水源の涵養の機能の維持増進を図るための森林整備を推進すべき森林	
(2) 土地に関する災害の防止及び土壌の保全の機能の維持増進を図るための森林整備を推進すべき森林	
(3) 迅速な復元の形成の機能の維持増進を図るための森林整備を推進すべき森林	
(4) 民俗文化機能の維持増進を図るための森林整備を推進すべき森林	
(5) 木材の生産機能の維持増進を図るための森林整備を推進すべき森林	
(6) 木材の生産機能の維持増進を図るための森林整備を推進すべき森林のうち、特に効果的な整備が可能な森林	
5 整備整備推進区域	
① 基礎道路	
(1) 計画	
(2) 計画開始予定線	
(3) 計画専用道路予定線	

(1) 土地に関する災害の防止及び土壌の保全の機能の維持増進を図るための森林整備を推進すべき森林の区域については、区域が点在しているため表示はせず、森林整備計画書の第4の2「別表1」により定めている。  
 (2) 木材の生産機能の維持増進を図るための森林整備を推進すべき森林については、本図面によるゾーニングとは別途、シタケ原木用として利用するクヌギ林及び培養用部分林用として利用している部分林について、森林整備計画書の第4の2「別表3」及び「別表4」により定めて



# 蒲生地域概要図

